

[第3種郵便物認可]

全市町村長「応募しない」

高レベル放射性廃棄物処分場公募 3市民団体アンケート

原子力発電環境整備機構が公募している高レベル放射性廃棄物最終処分場について、「放射能のゴミはいらない」「市民ネット・岐阜」(兼松秀代表)などの3市民団体は17日、県内42市町村の首長に公募に対する姿勢を尋ねたアンケートの結果を公表した。全首長が「応募しない」と回答した。3団体は「不安は残るものの全首長から回答を得たことは大きい成果。今後の取り組みに生かしたい」としている。

同ネットと瑞浪市、土岐市の市民団体が協力して昨年11月～今年5月、市町村を直接訪ねてアンケートを渡し、郵送で回収する方法で実施した。「国から立地申し入れがあったらどうするか」との問いに、41人が「受け入れない」と答えた。唯一、飛騨市長が無回答で、「現在は応募しないが、将来については考える必要もありうる」との意見を付けた。

【小林哲夫】

中 旬 乗 車 局

処分場への応募否定

放射性廃棄物 調査に全市町村長

高レベル放射性廃棄物最終処分場に反対する県内の3市民団体は17日、県内の全42市町村の首長に行つた同処分場の公募に関するアンケート結果を発表した。応募については全市町村長が否定したが、飛騨市長は「将来的には住民の意見によって考える必要が出てくる可能性もある」と含みを持たせる回答をした。

アンケートは▽公募内容を知っているか▽公募に応募するか▽国から立地申し入れをされた場合、受け入れるか―など5項目を質問。公募内容は約八割の市町村が把握しており、申し入れについては飛騨市が無回答だったほかは「受け入れない」と答えた。

分のための研究を進める瑞浪超深地層研究所(瑞浪市)があることなどから「国から処分場建設の申し入れがある可能性が高い」として、各首長の考え方を確認するため行った。多治見市役所で会見した三団体の代表は「全市町村が応募を否定したことには安心したが、申し入れの受け入れの可能性を示した飛騨市、研究所がある瑞浪市の動向には注意を払っていきたい」とした。

多治見市役所で会見

(清水祐樹)

実施したのは「埋めてはいけない」核のゴミ実行委員会・みずなみ(瑞浪市)「核のゴミから土岐市を守る会」(土岐市)「放射能のゴミはいらない!市民ネット・岐阜」(岐阜市)の三団体。県内には、高レベル放射性廃棄物の地層処